サポート情報記事

Vitextra 製品のバージョン体系: バージョン番号の読み方

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

Vitextra 製品のバージョン体系**:** バージョン番号の読み方 4

バージョンの形式 4

バージョンの比較 4

バージョンを確認できる場所 5

ダウンロードセンターと変更履歴 5

Web パーツのプロパティ ウィンドウ 5

アプリ カタログ 6

Microsoft AppSource 6

旧バージョン番号と新バージョン番号 6

対象外の製品 7

更新とライセンスへの影響 8

用語 9

Vitextra 製品のバージョン体系: バージョン番号の読み方

2026 年 10 月から、**Microsoft 365** 向けの Vitextra 製品は、ビルド日付に基づく共通のバージョン体系への移行を進めています。この記事では、形式の説明、インストール済み製品のバージョンを確認できる場所、そして各製品の旧体系での最終バージョンと新体系での最初のバージョンの一覧を掲載します。

バージョンの形式

バージョン番号は、ドットで区切られた 3 つの部分 **年.月.ビルド** で構成されます。

部分	意味	例 **(26.10.5)**
年	ビルドが作成された年の下 2 桁	26 → 2026 年
月	ビルドの月。先頭のゼロなし (1〜12)	10 → 10 月
ビルド	その月の中でのビルドの通し番号。1 から開始	5 → 2026 年 10 月の 5 番目のビルド

つまり、バージョンは製品がいつビルドされたかを表します。26.10.5 は 2026 年 10 月の 5 番目のビルドで、27.1.1 は 2027 年 1 月の最初のビルドになります。

メモ

ビルド番号のカウンターは製品ごとに独立しています。Employee Directory の 26.10.5 と **RSS** Reader の 26.10.5 は互いに無関係なビルドで、たまたま同じ月にそれぞれの製品で 5 番目のビルドだったというだけです。

バージョンの比較

3 つの部分を左から右へ、数値として比較します。まず年、次に月、最後にビルドです。日付が後のものが常に新しいバージョンです。

- 26.10.13 は 26.10.5 より新しい (同じ月で、後のビルド)
- 26.11.1 は 26.10.13 より新しい (後の月)

- 27.1.1 は 26.12.9 より新しい (後の年)

警告

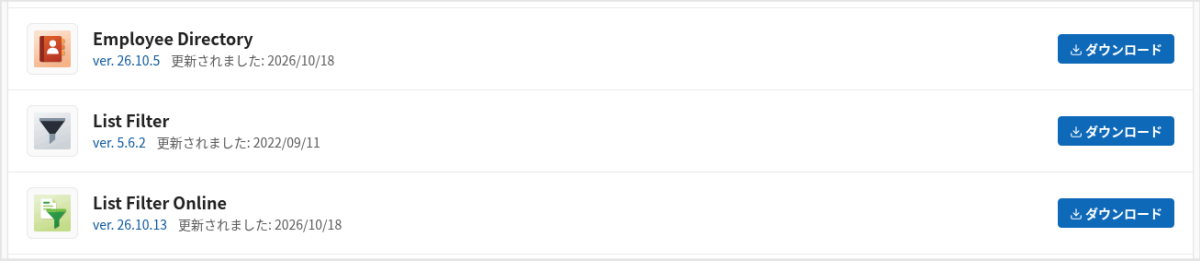
各部分は文字列ではなく数値として比較してください。文字列比較では「1」が「5」より前に来るため「26.10.13」が「26.10.5」より前に並んでしまい、誤った結果になります。スクリプトや自社のインベントリでバージョンを比較する場合は、ドットで分割して各部分を数値として比較してください。

新体系のすべてのバージョンは、従来の製品別番号体系のどのバージョンよりも数値的に大きくなります (旧体系のメジャーバージョンは 6 を超えませんでした)。そのため「番号が大きいほど新しい」という原則は移行後も成り立ちます。

バージョンを確認できる場所

ダウンロードセンターと変更履歴

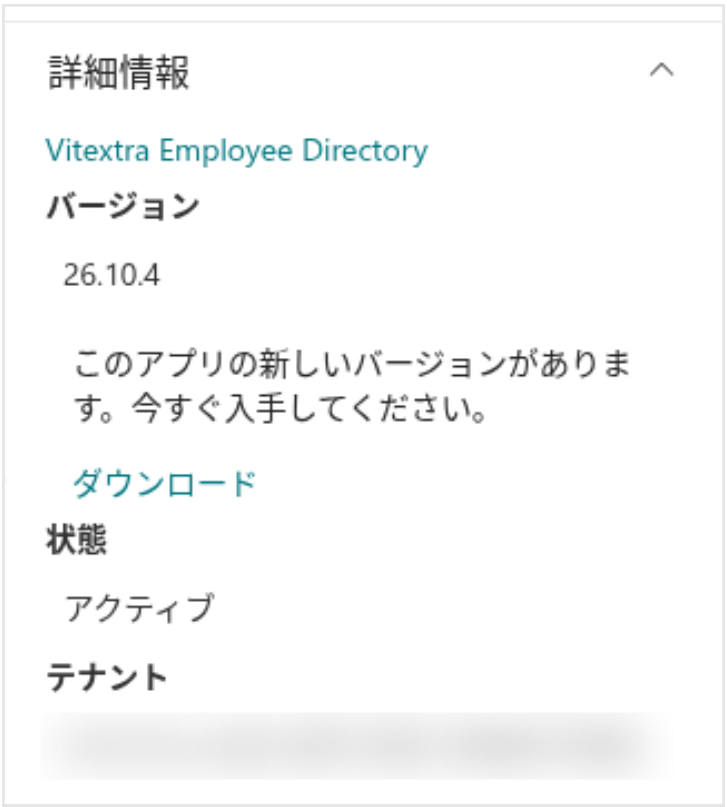
ダウンロードセンター には、各製品の現在のバージョンがダウンロード リンクの横に表示されます。各製品の変更履歴ページには、リリースされたすべてのバージョンが日付とともに掲載されています。



ダウンロードセンターに表示される製品バージョン

Web パーツのプロパティ ウィンドウ

ページを編集モードで開き、Web パーツを選択してプロパティ ウィンドウを開きます。ウィンドウ下部の **バージョン情報** セクションに、インストールされている製品のバージョンが表示されます。



プロパティ ウィンドウの「バージョン情報」セクション

アプリ カタログ

テナント管理者は、テナントのアプリ カタログの **用アプリ** ライブラリで、展開済みの各パッケージのバージョンを確認できます。**アプリのバージョン** 列に、アップロードされたパッケージのバージョンが表示されます。

Microsoft AppSource

Microsoft **AppSource** の製品ページには、ストアに公開されているパッケージのバージョンが表示されます。新しいリリースが Microsoft の認定プロセスを通過する間、ダウンロードセンターより数日遅れることがあります。

旧バージョン番号と新バージョン番号

次の表は、移行済みの各製品について、旧体系で最後にリリースされたバージョンと、新体系で最初にリリースされたバージョンを示しています。

製品	最終バージョン (旧体系)	最初のバージョン (新体系)
Announcements Carousel	1.2.1	26.10.5

製品	最終バージョン (旧体系)	最初のバージョン (新体系)
Employee Details	1.0.x (リリースに番号は付与されていませんでした)	26.10.4
Employee Directory	6.1.7	26.10.5
List Filter Online	3.6.2	26.10.13
My Tasks	6.3.6	26.10.13
Organizational Chart	2.3.6	26.10.7
QR Code Generator	1.2.7	26.10.5
Questions & Answers	4.2.2	26.10.6
Quick Poll	1.9.1	26.10.2
RSS Reader	3.6.2	26.10.5
Smart Search	3.1.1	26.10.9
Smart Tiles	3.5.4	26.10.4

メモ

Password Vault、Short URL Online、Stock Quotes は現時点では従来のバージョン番号 (1.3.7、4.0.3、1.0.3) のままです。これらは次回のリリースで新体系に移行します。新製品はすべて、最初のバージョンから新体系でリリースされます。

対象外の製品

この体系は Microsoft 365 向け製品にのみ適用されます。オンプレミスの SharePoint Server 向けに開発されたレガシー製品は、従来のバージョン番号を維持します。

- Document Auto Title (1.1.0.0)
- List Filter (5.6.2)
- Number Generator (1.4.2.0)

- Quick Filter (1.2.0.0)
- Short URL (3.4.4.0)

警告

SharePoint Server 向け製品のバージョンと Microsoft 365 向け製品のバージョンを比較しないでください。名前が似ていても、番号体系が異なる別の製品です。List Filter (SharePoint Server、5.6.2) と List Filter Online (Microsoft 365、26.10.13) は、それぞれ独立した製品です。

更新とライセンスへの影響

ありません。新体系で変わるのはバージョンの番号付けの方法だけです。

- 既存のライセンスはそのまま有効で、再アクティベーションは不要です。
- 更新手順はこれまでどおりです。ダウンロードセンターから最新パッケージをダウンロードしてアプリ　カタログにアップロードするか、設定済みであればテナントのアプリ カタログによる自動更新に任せてください。
- 各製品の変更履歴は、新しい番号で引き続き提供されます。

ヒント

展開と更新の手順については、KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法 の記事を参照してください。

用語

AppSource

Microsoft AppSource は、Microsoft 365、Dynamics 365、Power BI、Power Platform、その他の Microsoft サービス向けに作成されたアプリケーションとサービスを扱う、グローバルなオンライン マーケットプレースです。AppSource では、アプリケーションを検索、購入し、組織のテナントに展開できます。

Microsoft 365

Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

RSS

RSS (Really Simple Syndication) は、Web サイトの更新情報をユーザーやアプリケーションに標準化された機械可読形式で配信するために使用される、一般的な Web フィード形式です。この形式は、ニュース記事、ブログ投稿、その他の頻繁に更新されるコンテンツの配信に広く使用されています。